

みてみて！家庭学習ノート【藤沢中学校】

～続き～

(英文を訳して答える問題)

(1) ①... She went there with my family by car.
 ②... They were having hanami parties.
 ③... Yes, she did.

(2) ... 桜には花見をするという習慣があるから。
 (3) ... おばあちゃん、花見のことを話した。

(1) ①... Yes, he did. ②... he visited the space museum.
 He enjoyed Easter egg.

(2) ...

(英語で表現する問題)

1. (1) Were you at home last Saturday?
 - Yes, I was.
 (2) What did you do last Saturday?
 - I was study English and math.

2. 先生と、武史の立場に立って(主語はIで始める)、英文(8文)を書きなさい。

I went to Kyoto with my family during Golden Week.
 It was sunny and hot.
 I saw a kinkakuji for the first time.
 It was beautiful.
 I took a lot of pictures.
 I ate yudofu. I was good.
 I had a very good time.

★「誰が」→ who { have to } 「must」
(will) の数で決まる
 3人以上は have to
 2人以下は must

「理科」

～化学反応式～

- 炭素の燃焼 → $C + O_2 \rightarrow CO_2$
- 水の電気分解 → $H_2O \rightarrow 2H_2 + O_2$
- 酸化銀の分解 → $2Ag_2O \rightarrow 4Ag + O_2$
- 炭酸水素ナトリウムの熱分解 → $2NaHCO_3 \rightarrow Na_2CO_3 + CO_2 + H_2O$
- 銅を加熱・酸化 → $2Cu + O_2 \rightarrow 2CuO$
- マグネシウムの燃焼(酸化) → $2Mg + O_2 \rightarrow 2MgO$
- 酸化銅に炭素を加えて還元と酸化の反応
 $2CuO + C \rightarrow 2Cu + CO_2$
- 酸化銅に水素を加えて還元と酸化の反応
 $CuO + H_2 \rightarrow Cu + H_2O$
- メタン(CH₄)の燃焼(2O₂) → $CH_4 + 2O_2 \rightarrow CO_2 + 2H_2O$
(炭素) (水) (酸化)

↓

還元 酸化

酸化銅に水素を加えて還元と酸化の反応
 $CuO + H_2 \rightarrow Cu + H_2O$

～17～ 重要事項のまとめ

- 化学変化
- 分解
- 熱分解
- 炭酸ナトリウム(二酸化炭素+水)
- 銀+酸
- 電気分解
- 氷素+酸素
- 原子
- 周期表
- 分子
- 化学式
- 単体
- 化合物
- 化合
- 化合物
- 鉄と硫黄
- 化学反応式

2年生家庭学習ノート
 学習する内容をテーマとしてしっかりと書き込んでいます。ポイントをまとめながら最後にはしっかりと問題演習に取り組んでいます。

人類誕生

「人類の変化(Transition)」

脳が発達 → 三足歩行
 道具の使用(打製石器)(火)
 言葉を使う

猿人 → 原人 → 新人

古蹟 → 猿人
 ・技術知能 → 道具
 ・指導者
 ・協力

縄文時代

天気や季節による左右される生活(自給自足で不安定)

縄文の生活

- 小規模集落
- 縄文土器の使用 → 狩り狩集
- 保存調理(安全→穀類)
- 火に焼いたものを器に盛り付け、技術が行われ、死者の霊の災いを防ぐためのものとされる埋葬が行われた。

古蹟 → 縄文
 上下関係
 ・技術
 ・必要かな...

弥生

なぜ縄文時代の生活から変化したか?

米作り → 定住 (国) (技術)

弥生の生活

国の誕生

農家(耕作) → 富 → 指導者 → 国

日野島台(倭の国祖)

女王 卑弥呼

→ 中国に類まれ、新羅使節の称号を金印をもらう

古蹟 → 弥生
 ・知恵
 ・争い
 ・リーダーシップ → 権力△
 ・人子

古蹟

「大王」の勢力が広がって各地の王を従えた
 → 戦い、戦利品の分配 → 文化の交流

◎ 大和政権といふことになり(近畿地方の豪族のまとまり)
 (この国をまとめる)

権の集中

古蹟

単元の責 課題 古蹟のくらしのよさを理解した上で、弥生時代の出現は、猿人から脳の発達により人が現れた。後に技術力の発達から狩りや米作りの生活になり、指導者の現れから国が生まれた。自らの手にした者が権力を持つ国をまとめる。

1年生家庭学習ノート
 単元の学習の要点を自分でまとめています。毎時間のキーワード等を整理するとともに、単元の学びをノート見開きに要約しています